

大腸検査について

便潜血が陽性になった方は、何らかの異常があるかを確認するため、精密検査（2次検査）を受ける必要があります。

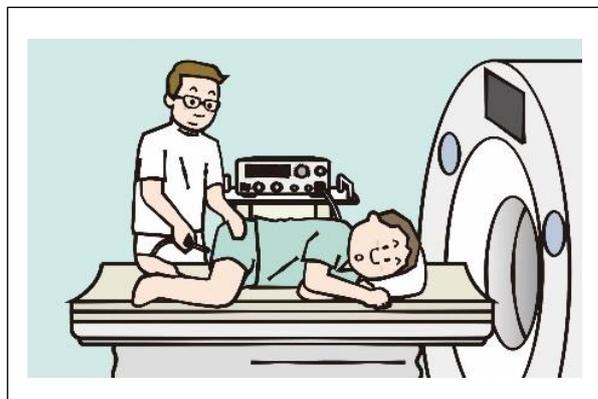
近年、大腸の新しい2次検査としてCTCが注目され、普及し始めています。

CTCは内視鏡を使わない大腸検査の事で、検査時間が短い・検査時の苦痛が少ない・体位変換が少ない、などのメリットが言われております。

CTC検査とは

CTCは肛門からチューブを挿入して、炭酸ガスを注入し大腸全体を十分に拡張させた状態でCT撮影を行います。

検査時間は、短時間（15～20分）で検査することが可能です。

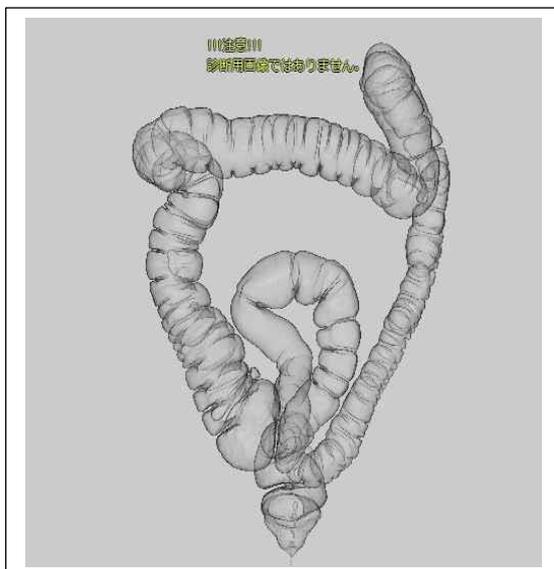


・撮影後

検査が終わりましたら、撮影画像を用いてコンピューターで様々な画像を作成します。

放射線画像診断医が読影・診断を行い、結果を後日面接にてお知らせ致します。

仮想注腸像



仮想内視鏡像

